

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2016, 11, 24 NO, 195

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319



杉並区議会第4回定例会

増田寛也顧問の報酬額は直ちに見直しを

杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略担当顧問に任用された増田寛也氏に月額35万円の報酬が支払われている問題で、日本共産党区議団は、21日の区議会本会議で見直しを求めました。

月2日4時間勤務で月額35万円

増田氏は、自民党、公明党推薦で都知事選に立候補し、田中区長も熱烈に応援していました。区長は9月1日付で増田氏を顧問に任命。報酬は非常勤で月額35万円というもので「落選後の救済措置ではないのか」と区民からも批判の声があがっていました。

党区議団の調査で、増田顧問の勤務日数は、9月～10月の2か月間で月2日、4～5時間程度であることが明らかとなりました。11月の勤務予定も数日間程度となる見込みで、時給に換算した場合7万円、



鉢巻き姿で応援する田中区長(写真提供 堀部やすし議員)

日給換算では17万円を超える金額です。党区議団は、この程度の勤務日数で35万円もの報酬が支払われることは到底区民の理解を得られないものではなく、勤務実態に見合った報酬額に引き下げるよう求めました。

「政治の現場を知らないのでは？」 あきれた区長答弁

答弁に立った田中区長は「増田氏には、これまでの官僚、岩手県知事、大臣としてのキャリアやネットワークをいかし最大限活躍してほしい。何日勤務したとか登庁したとか、一つの物差しに限って評価をするというのは、あまりにも短絡的な図り方。政治の現場をあまりご存じではないのではないかと。それが理解できないならそれまでの話。都知事選出た出ないと、政争の具にするのはいかがなものか」などと述べました。区民感覚からかけ離れた区長の姿勢に、またもや区民から疑問の声が上がっています。

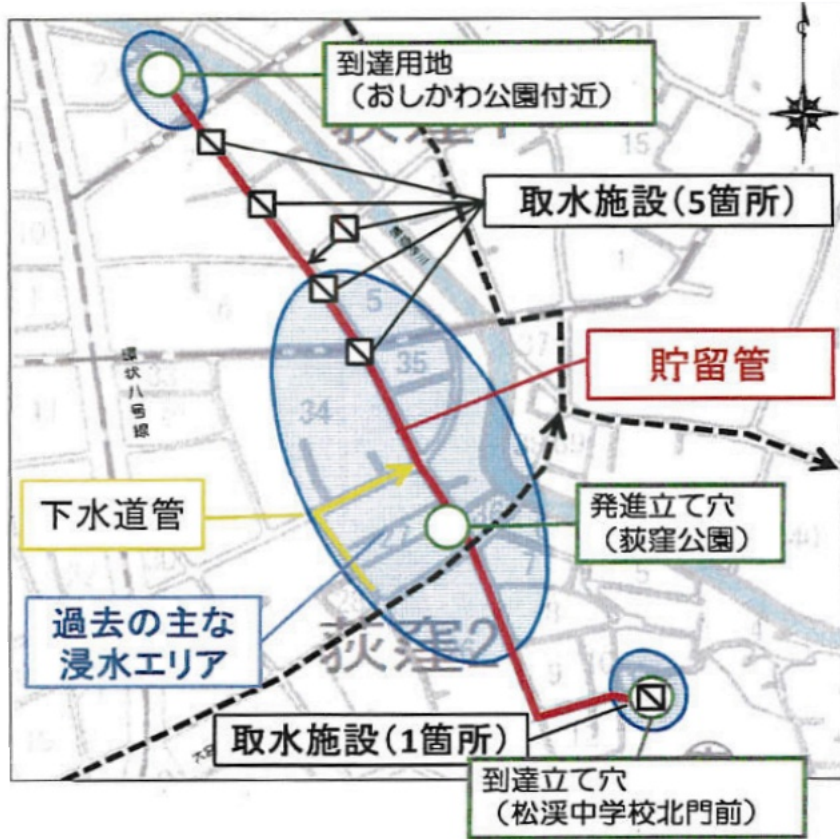
月	日	登庁	時間	月合計	時給換算
9月	5日(月)	午前中	約1.0時間	約4.5時間	約7万8千円
	23日(金)	13:25-16:45	約3.5時間		
10月	21日(金)	9:20-12:00	約2.5時間	約5.0時間	約7万円
	28日(金)	13:30-16:00	約2.5時間		
11月	4日(金)	14:00-16:00	約2.0時間	※1	
	8日(火)	14:00-16:00	約2.0時間		

11月9日現在、区からの聞き取りをもとに作成。
※1 11月の登庁は上記以外にもう1日予定があるため時給換算については除外

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

荻窪2丁目付近の浸水対策 雨水貯留施設の設置が決定、来年度 工事着工

整備概要図

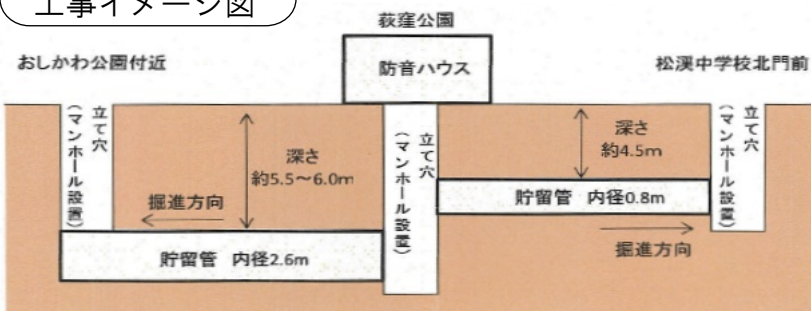


荻窪2丁目付近は、集中豪雨による浸水被害が多発する地域で、対策が急がれていました。2013年12月、東京都下水道局は「豪雨対策下水道緊急プラン」を策定し、当該地域の浸水対策を促進するとしていましたが、先ごろ、ようやく整備内容が示されました。

整備事業の概要は、善福寺川沿いの地盤が低い箇所での浸水被害を軽減させるため、雨水貯留施設（貯留管）を整備するものです。貯留管は、時間雨量50ミリに対応できるもので、内径2・6mのもの約400m、0・8mのもの約250mで、合計貯留量は約2,200立方メートル（25mプール6杯分）。来年度から工事に入り、2019年度末完成予定としています。工事期間中、荻窪公園は全面閉鎖となり、騒音対策として防音ハウスが設置されます。

日本共産党区議団は、東京都や杉並区に対し、浸水被害の対策を急ぐよう、繰り返し求めてきました。今後も、区内の水害対策の強化を求めていきます。

工事イメージ図



今後のスケジュール

工事内容	28年度	29年度	30年度	31年度
設計	[Red bar indicating design period]			
工事		立て穴工事	貯留管工事 下水道管工事 (取水管)	マンホール設置工事 公園復旧工事

貯留管

【荻窪公園～おしかわ公園付近】

断面（直径） 2.6m

延長 約400m

【荻窪公園～松溪中学校北門前】

断面（直径） 0.8m

延長 約250m

合計貯留量 約2,200^m

下水道管

断面（直径） 0.25～0.8m

延長 約100m

取水施設（マンホール）

箇所数 6箇所